

(様式第1号)

## 指定管理者制度導入施設の管理運営状況【令和 5 年度】

※1～6, 9:施設所管課記入

7:指定管理者記入

8:指定管理者及び施設所管課記入

指定管理者名	志田中部地区振興協議会
施設所管課	地域交流センター

### 1. 施設名

施設名	大崎市古川志田地区公民館	施設の住所	大崎市古川飯川字熊野59番地
		電話番号	0229-26-2340

### 2. 施設の概要

設置年月日	昭和52年4月1日	設置条例等	大崎市公民館条例
設置目的	教育, 学術及び文化に関する各種の事業を行い, もって市民教養の向上, 健康の増進及び情操の純化を図り, 生活文化の振興及び社会福祉の増進に寄与する。		
施設の内容	敷地面積:1686.00㎡ 延床面積:541.81㎡ ホール・研修室・和室・調理実習室・ロビー・事務室		
利用料金	(区分)(区分)午前 9:00～13:00 午後 13:00～17:00 夜間 17:00～21:00 ホール:1,300円 研修室:900円 和室:900円 調理実習室:900円		
閉館日, 開館時間	閉館日:12月29日から翌年の1月3日まで 開館時間:午前9時から午後9時まで		

### 3. これまでの管理運営状況

期	間	管理形態	管理受託者又は指定管理者等		
平成	24年度～平成	26年度	1.直営・2.管理受託・3.指定管理・4.その他	3	志田中部地区振興協議会
平成	27年度～平成	29年度	1.直営・2.管理受託・3.指定管理・4.その他	3	志田中部地区振興協議会
平成	30年度～令和	4年度	1.直営・2.管理受託・3.指定管理・4.その他	3	志田中部地区振興協議会
令和	5年度～		1.直営・2.管理受託・3.指定管理・4.その他	3	志田中部地区振興協議会

### 4. 現指定管理者の指定期間

指定期間	令和 5年 4月 1日	～	令和 10年 3月31日	( 5年 0ヶ月)
選定方法	2	1.公募 (応募者数: 団体)	2.非公募	

### 5. 指定管理料

令和 5 年度(ア)	令和 4 年度(イ)	(ア) - (イ)
13,166 千円	13,055 千円	111 千円

※(ア)は当該年度, (イ)は前年度とし, それぞれ決算額ベース。

### 6. 指定管理者が行う管理運営業務の内容

指定事業(業務): 1.生涯学習事業に関する業務 2.管理物件の利用許可等に関する業務 3.管理物件の維持管理に関する業務
自主事業: 1.自動販売機設置及び災害時の備蓄水保管業務 2.旧志田小学校体育館鍵管理業務

## 7. 利用実績等

### (1)利用者数

(単位:人, 件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
令和 4 年度	1,971	245	642	1,370	226	271	523	1,036	279	221	392	307	7,483
令和 5 年度	525	245	427	388	179	394	285	591	311	303	420	442	4,510

主な増減要因	R4.4月市議会議員選挙, 7月参議院選挙, 11月地区民文化祭があった為
--------	---------------------------------------

※上段に前年度実績を記載し, 下段に当該年度実績を記載すること。

※指定事業に係る利用者数を記載し, 自主事業による人数・件数は記載しないこと。

### (2)利用料金収入

(単位:千円)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
令和 4 年度	7.1	0.0	0.9	8.3	3.9	2.3	1.2	13.0	8.4	8.0	13.5	6.0	72.5
令和 5 年度	1.2	2.0	0.5	8.9	4.6	8.4	0.4	10.7	9.0	8.8	14.4	13.4	82.2

主な増減要因	冷暖房設備利用の増加によるもの
--------	-----------------

※上段に前年度実績を記載し, 下段に当該年度実績を記載すること。

※指定事業に係る利用料金を記載し, 自主事業による収入は記載しないこと。

### (3)サービス向上や利用者数の増加等のために実施した主な取組み

○館内備品の整理整頓、清掃を徹底し、気持ちよく利用して頂いている。  
○どなたにも明るく笑顔で挨拶をし、コミュニケーションを図る。電話対応などは特に言葉遣いなどを注意し、相手に不快な思いをさせない様に努めている。  
○ウイルス感染症対策として検温、手指の消毒、利用備品のアルコール除菌を継続している。  
○どなたでも、自由に水分補給が出来る様にウォーターサーバーを設置している。  
○トイレは、お客様の要望もあり、便座除菌スプレー、使い捨てのペーパータオルを設置した。気持ちよく利用出来るようにしている。  
○タオルやふきん、雑巾はこまめに洗濯し、いつでも清潔な物を提供している。  
○資料作成の相談や印刷などの依頼を受けることが多いが、適切に対応できている。  
○ロビーを談話コーナーとして開放。サークル活動後の軽いうち合わせや、小会議に利用している。部屋の申請も不要な為、手軽に使えると利用者からも好評。  
○作品展示コーナーを継続。サークル活動で作ったパッチワーク等の手芸用品を展示している。季節に合わせて入れ替え、常に新しい物が飾っており、見学者も多い。公民館事業やサークル活動に興味を持つきっかけにもなっている。  
○公民館便りを毎月発行。見易さや、伝わり安い表現を重視し、読んだ方が参加したくなる様なお便りになるように工夫をしている。

### (4)施設利用者の主な声やその対応状況

1.利用者からの意見を公民館運営に反映するためにご意見箱を設置しているがR5年度の投稿はなかった。  
2.公民館施設の老朽化による修繕についてのご意見を多く頂く。引き続き大崎市へ修繕要望をしている。  
3.駐車場入口のアスファルトの陥没についての指摘が多い。昨年、大崎市で修繕して頂いたが、2ヶ月程で陥没してしまい、職員が定期的に砂利を入れて対応しているが、古川支援学校の送迎の車や大型バスの通行が多く、数日しか持たない現状である。(恒久的な対応を望む)  
※施設利用者とのコミュニケーションを十分に取ながら話しやすい環境作りや人間関係、信頼関係を構築しています。

### (5)施設の管理運営における課題

志田中部地区と東部地区の2つの地区、地区振を管轄しており、どちらの地区も偏りなく平等な関わりができる様に努めている。  
施設の老朽化も進んできており、常に整理整頓・清掃を心がけているものの古く暗いイメージがどうしてもある。  
自然災害等の発生時、第2指定避難所としての役割・対応について

## 8. 管理運営状況

評価項目	評価基準	自己評価	所管評価
------	------	------	------

1 施設全般の管理運営に関する業務 ※ 該当しない項目については、「－」を記入してください。

(1) 人員配置	管理運営に必要な人員及び有資格者を配置している。	○	○
(2) 職員研修	業務に必要な職員研修や教育等を適切に行っている。	○	○
(3) 管理記録	各種の管理記録(業務日誌等)を適切に整備、保管している。	○	○
(4) 安全管理	日常の安全管理や緊急時のマニュアル整備等の体制を整備している。	○	○
(5) 清掃・維持管理	施設、設備等の保守点検や維持管理等を適切に行っている。	○	○
(6) 施設等の修繕	施設や備品等の修繕を適切に行っている。	○	○

2 利用者に関する業務

(1) 利用状況	事業計画書等に基づく利用者数や施設の稼働率がある。	○	○
(2) 利用料金	利用料金の設定、徴収、減免、還付等の手続きを適切に行っている。	○	○
(3) 利用者満足度	利用者ニーズの把握に向けた取組みを行っている。	○	○

3 事業の実施

(1) 指定事業	仕様書、事業計画書に基づく事業を実施している。	○	○
(2) 自主事業	施設の設置目的に沿った自主事業を実施している。	○	○

4 個人情報の取扱い

(1) 個人情報の保護	協定書等に基づき適切に個人情報を取扱っている。	○	○
-------------	-------------------------	---	---

5 管理運営業務の収支等

(1) 収支状況	事業計画書等に基づく妥当な事業収支である。	○	○
(2) 効率的な運営	経費の節減や利用料金収入の向上に向けた取組みを行っている。	○	○
(3) 経理事務	専用口座、帳簿等を備え、適切な経理事務を行っている。	○	○

評価	評価の考え方
◎ (優良)	協定書や事業計画書等より優れた内容で管理運営を行った。
○ (良好)	協定書や事業計画書等に基づき適正な管理運営を行った。
△ (課題有)	協定書や事業計画書等を下回る内容であり、一部の業務に改善が必要である。
× (改善要)	協定書や事業計画書等に基づく管理運営が行われなかったため改善を要する。

## 9. 施設所管課の総合評価

施設管理面では、利用者が快適に活動できるように環境美化やフリースペースを設けるなど創意工夫がみられる。

公民館講座では、対象、テーマ等バランスよく実施されており、未就学児が少なくなっている状況下のなか他地区公民館と連携して開催することで、参加者の交流を含めて企画から運営まで工夫をして実施されており評価できる。

また、他地区公民館の事業を視察し自らの講座の参考とするなど積極的な面も見受けられる。今後も少子高齢社会などの環境の変化にあわせた施設運営、事業展開を期待します。